

平成28年度第1回 阿賀野市地域公共交通協議会 議事録（要旨）

日時 平成28年11月25日（金） 13時30分～14時30分

場所 阿賀野市役所 403会議室

日程	担当	内容
主催者 挨拶	会長 (田中市長)	<p>本日は委員の皆様には年末の大変ご多用の中、阿賀野市の地域公共交通協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。昨日からだいぶ寒くなってまいりました。向うに見える五頭山にも初雪が降りまして、五頭山に3回雪が積もると里の方にも雪が積もるといようなことが言われております。今、日本社会は超高齢化社会を迎えています。最近、高齢者のドライバー事故が多くなってきているという話題が多くなってきています。冬を迎えるとなおさら、高齢者の皆さんの外出が非常にしにくいような状況が生まれてまいります。我々としては、高齢者のみなさんの足として、交通弱者と言われる方々の外出の機会をしっかりと考えていかなければならないと思っております。そういった中で重要な役割を果たすのが地域の公共交通でございます。今、いろいろと厳しい財政状況の中できめ細かく回るといのはなかなか難しいことではございますが、先ほど申し上げましたとおり高齢者の皆さんから、ある一定の年齢に達したら免許の返納ということを進めていかなければならないと思っております。そのためにも、なんとしても地域の足であります公共交通をしっかりと確保し、そして提供していくということが重要になっております。そういった面からも、この地域公共交通協議会において検討をしていただければと思います。</p> <p>今日の議題は3つほどありますが、今日は第2回ということで、先回第1回の時に阿賀野市地域公共交通網形成計画についてご説明させていただいておりますが、(1)現状の整理の内容について、(2)アンケート調査の結果、それを踏まえた課題の確認、そして(3)今後の基本方針、目標について、説明させていただきますので、皆様から慎重審議のうえご意見等を伺えればと思っておりますのでよろしくお願いを申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。</p>
議 題 (1)(2)	議長(会長)	それでは、議題(1)～(2)について、事務局から説明いたします。
	事務局 (星)	【事務局説明】 資料により説明
	事務局長 (圓山)	<p>ただいま(1)(2)について続けて説明させていただきました。</p> <p>大変申し訳ありませんが、会長でございます田中市長は、緊急の用務がございまして、席をはずしましたので、ここからは事務局の方で進行させていただきたいと思っております。ご了承いただきたいと思います。それでは事務局の説明内容について、ご質問、ご意見等ございましたら挙手のうえご発言をお願いいたします。</p>

宮腰委員	<p>策定するにあたって、前回のアンケート調査と比較してということで、アンケート結果・・・(聞き取り不能)</p> <p>地域別については小学校区ごとに割ってだしてありますので、サンプルもそれなりに取れているからいいと思うんですけど、実際に、利用者アンケートの数が非常に少ないものですから、住民アンケートの中で移動している人、たとえば49ページのところに阿賀野市の市営バスを年1回以上利用している人は251名いますということになっているわけですので、年1回以上使っている人たちがどういうふうな挙動をしているか。要するに回答は全く乗っていない人たちが自分の希望として適当に丸を付けているだけです。その辺のところをもう少し明確にして、実際に年を取った人たちが利用されるようになった時には、こういうふうなことですよねというのを見ていただければと思います。車があるとかないということも質問事項になっていますので、そういうところを分析してみていかないと実際に改善するといってもわからないと思います。</p> <p>それから、アンケートには当然要望を書くところがあると思います。スケジュールでは1月にパブリックコメントを取るとなっていますが、パブリックコメントが満足に取れているところなんて、私はあまり知らないの、そういう意味で言うと、アンケートのコメントをきちんと抽出された方がよろしいのではないかと。</p> <p>何でこんなことをいうのかというと、前回のアンケート調査の際に、分田線の沿線について、うちの研究室でアンケートを取らせていただいたところなんです、利用の目的というのは病院と日帰り温泉の利用、あとは学生の3つしかないんですね。他のところだとふつうは買い物、購買目的が必ず入ってくるんですけど、この場合非常に特殊なところでして、それが入ってない、そういうバス運行になっていないわけですから、それは致し方ないのですが、その辺のところを少し考慮いただければと思います。</p> <p>私、前回所用で欠席させていただいたんですが、事前に行われた循環のバスですね、そういうものは外部から入ってきて回るようにしないとほとんど使えなくて、中だけで回してもなかなか使う人がいないというのが全国的に言われているところなんです。周辺部から入ってきて回してあげるといいうことを、次にやるのであればやっていただきたい。</p>
事務局長 (圓山)	<p>ありがとうございました。アンケートの結果の分析の仕方ですとか、試行運行のやり方等について、ご意見をいただきました。事務局の方なにかありますか。</p>
事務局 (星)	<p>ご意見を踏まえまして対応をいたします。</p>
高橋智彦委員	<p>2点、意見を言わせていただきます。</p> <p>1点目は、資料55ページから57ページにかけて、上位・関連計</p>

		<p>画の整理をいただいているところですが、地域公共交通活性化再生法に基づく地域公共交通網形成計画のポイントにまちづくり施策との連携という観点がありまして、他の地域公共交通網形成計画をみますとまちづくり関連の計画として都市計画マスタープランがあればその内容をちゃんと整理して、それとの関係で今回の地域公共交通網形成計画をどうするのかという議論をしている例が非常に多いので、資料に載っている計画だけではなくてまちづくりに関係した計画も含めて整理していただけると大変よいと思います。</p> <p>もう1点が、地域公共交通網形成計画を作成する目的の一つとして、持続可能な地域公共交通をいかに形成していくかということだと考えています。その観点から、各路線バス、市営バスの利用状況をちゃんと把握いただくとともに、それに対して、一部路線バスの補助額の記載はあるのですが、市営バスに関して運行経費がどれだけかかっているのか、財政的な側面も含めて、整理いただく必要があるのではないかと考えています。一部利用状況の記載はあったのですが、他の路線の整理もしていただきたい。</p>
	事務局長 (圓山)	<p>ありがとうございました。掲載されている以外のほかのまちづくり計画についても考慮すべきだという点と運行経費等財政面についても整理すべきだというご意見でございました。</p>
	事務局 (星)	<p>他の計画ということで、実は都市マスについて策定中なのですが、遅れておりまして、今回記載できなかったということでございます。作成できしだい入れ込んでいきたいと思っております。</p> <p>持続可能な公共交通の提供ということで、市営バスの収支の状況というものも非常に重要になってくるということは考えております。実際に現在の収支率、費用に対する収益の割合は阿賀野市営バス全体で約10%、一番多い分田線でも20%、他は一桁ということで運営しておりますので、これをこのまま続けられるのか、というところも、財政状況も明らかにしながら、皆様からご判断いただきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。</p>
議題(3)	事務局 (星)	<p>【事務局説明】 資料により説明</p>
	事務局長 (圓山)	<p>この基本方針、目標についても、確定ではございませんので、皆様から本日ご協議、ご意見を頂戴する中で進めていきたいと思っております。</p>
	石山委員	<p>社会福祉協議会で2か月ほど前、シルバーの方って大勢おられるんですね。運転免許に自信のある方、そういう人を募って、困っている方をですね、乗り合いで乗せるような制度をつくったらどうかということだったんですが。募集をかけたが、手を挙げる人がいなかった。これはある程度報酬面について考えていただければ、結構集まるんじゃないかと思うんですが、これは市の方でもさっきお話が有りましたけれども、あるんでしょうか。</p>

事務局 (星)	<p>要は、高齢者であっても自分でまだ元気で運転できるという人が近所の人を乗せるという仕組みづくりのお話かと思うんですが、実際、難しい部分がございます。法律上、有償で人を乗せてサービスを提供するというのは難しいところがございます。ですので、現段階ではあくまでもボランティアという考え方をさせていただきたいと思います。その中で、今日は国の方、県の方が来ておられますけれど、こういった方々と私どもで相談しながらいい方法はないかということは、今後検討したいと思いますが、現段階では法律上の難しい部分があるというふうにご理解いただきたいと思います。</p>
石山委員	<p>マイカーということではなくて、車を支給するということ。市の方から車を支給することができるかということ。</p>
事務局 (星)	<p>そうしますとまた考え方が変わってまいります。それはまた具体的な事業としてそういう話が出たときに個別に相談を持ってまいりたいと思います。</p>
高橋智彦委員	<p>70 ページの基本的方針の方針2の中で、新たな生活拠点づくりという話がちらっと出てくるんですが、これは具体的にイメージされているものがあったりするんですか。</p>
事務局 (星)	<p>先ほど図面の中で見ていただいた中で、各地区の支所がございます。今、安田支所に関しては建替え・機能充実ということで話が進んでおりますので、そういったものを念頭に置いた内容になっております。</p>
高橋智彦委員	<p>課題3の中に交通結節点という話があるのですが、それとも絡めながら支所を結節点にしたいということですか。</p>
事務局 (星)	<p>はい。現在も市営バスに関して安田支所の乗降が一番多いところですので、そこの接続なり、バス待ち環境なりを強化してまいりたいと考えております。</p>
斎藤委員代理	<p>土日の要望が出ているのに何年もしていないのですが、何か問題があるのでしょうか。</p> <p>一昨年、(五泉・石間・保田車庫方面の)土曜日のバスがなくなったというのは、住民の方から不満が出ていると聞いていますが、その辺の解決策は何かあるのでしょうか。</p> <p>観光の面から言いますと土日に運行してもらった方が、観光には大変助かるじゃないかと思う。交流人口を増やすのに水原駅から循環するような体系ができれば一番観光に関してはよろしいんじゃないかと思いますので、その辺の回答がございましたらお願いします。</p>
事務局 (星)	<p>土日の運行についてでございますが、先ほどは説明を省略させていただきましたが、資料60ページを見ていただきたいと思います。1-1公共交通の充実ということで、右側の三つめの「・」を見てください。平成21年実施のアンケートにおいて要望の多かった土日祝日の運行について、実証試験を行い、利用者数、利用目的などを協議会において検討しました。その結果として、目標で定めた基準に達しなかったということで、土日はほとんどやらないと、ただし寺社線の一部、これ</p>

		<p>は市役所からあかまつ荘をつないでおるんですが、これを1往復、これだけが基準を満たしましたので、運行をすることといたしました。</p> <p>土日の運行要望があるということはわかっておるのですが、実証試験も行ったが、利用者が平日に比べて少ないということがありまして、一部を除いて行っていないというのが現状でございます。また要望が高くなってくれば、検討しなければいけないかなと考えておりますが、そういう経緯があったということでご確認をいただきたいと思います。</p> <p>観光面から土曜日、日曜日の運行をというお話もありました。これについては、市営バスが11路線走っておりますが、その中で五頭温泉郷線という路線で、市役所から村杉まで行くバスがございます。これは毎日運行ということで土日も運行しております。観光についてはこれに対応していると考えておりますが、不足面があればそれも検討し参りたいと思しますので、観光協会さんからも事務局の方に、具体的な時間帯などを言っていたきたいと思います。</p>
	斎藤委員代理	市役所からで、駅からはないのか。
	事務局 (星)	市役所から出発し駅も経由して、村杉までいきます。
	斎藤委員代理	電車の時間とあっているのか。それがないと観光で利用ができない。
	事務局 (星)	その辺も充分考慮してまいりたいと思います。ただ、観光路線に特化できない部分もあります。生活路線として、通院目的等に合せている部分もあるので、具体的な時間帯をご相談いただきたいと思います。
	宮腰委員	<p>五頭温泉郷線について調べていたんですけど、土日は比較的使っている。ただ、日帰り温泉等が多いようで、実際に観光協会さんとの関連でどれくらい使っているのかたぶんわからないということがあり、そういうのが分って市の方にデータを出していただけると、例えばこの時間帯についてどうしてほしいということがわかり、よりうまく使えるのではないかと思ったんです。</p> <p>もう1点、先ほど高橋委員から話があったのですが、都市再生計画、都市マスとの絡みについて、前々回のときに、連携を取った方がいいとお話ししたんですけど、49号バイパスが出来てきます。その場合、新潟交通さんの路線がどういうふうに変化してくるのかわかりませんが、都市間輸送の面で多少変化が出てくると思しますので、その辺のところも、この計画の範囲内で影響が出てくると思しますので、配慮したほうがよろしいかなと思います。</p>
	事務局長 (圓山)	<p>ありがとうございました。他にご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは議題の(1)～(3)については以上で終了したいと思います。その他ということで、事務局お願いします。</p>
その他	事務局 (星)	参考ということで資料をつけてあります。第1回の協議会の時に配布したスケジュールでございます。本日の第2回が本来10月に開催

	<p>すべきものでございましたが1か月遅れまして11月の開催となりました。</p> <p>この後、第3回で計画に定める事業を具体的に決めていく。そして素案を承認していただき、そしてパブリックコメントを経て、最終的に第4回で計画を年度中に承認をいただくというスケジュールとなっております。</p> <p>次回の第3回なんですけど、ただいま皆様から沢山ご意見等をいただきましたので、それらを踏まえて、整理の修正、具体的な事業のたたき台を作成して、第3回となりますので、ちょっと年内は厳しいかなという部分もございます。おそらく年明けぐらいになるかと思いますが、準備ができ次第ご案内を申し上げますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局長 (圓山)	<p>ただいま今後のスケジュールについてご説明申し上げました。これについてご質問、ご意見等ございますか。</p> <p>特にないようでございます。今年度末までに最終的な計画の承認をいただきたいということで、少しタイトなスケジュールになるかと思いますが、第3回、第4回ということでご案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>その他、ご意見等がございましたらよろしくお願いいたします。</p>
石山委員	<p>最後なんですけど、今、警察の方もいらっしゃるんですけど、お聞きしたいんですけど、警察で市内を巡回しておられるので、住民の動きに敏感だと思うの、ぜひ警察からもお話を伺いたい。</p>
吉田委員	<p>最初の方で市長から免許の返納という話があったと思うんですけど、我々も、高齢の方にこれを働きかけておるのですが、これが進まない一番の理由は、やはり足がなくなると。そして足がなくなると困る要因としては、病院に行けない、買い物に行けない、これが大きな理由として免許の返納ができないというのがあります。</p> <p>病院に関しては、奥さんや旦那さんを病院に連れていくにも足がない。バス停が近くにないのか聞いても、バス停までも歩けない。そういう発言が多い。また、買い物について、バスに乗って買い物に行くと、帰り買った荷物を持ってバスに乗って帰ってくるのはちょっと無理がある、できないということで、免許の返納ができないというっております。</p> <p>交通事故に関しては、当署管内も高齢の方が事故を起こすケースも非常に多く、怪我のある事故に関しては44%くらいが65歳以上の方が事故の当事者になっているということがありますし、スーパーの駐車場などでちょっとぶついたりというのも高齢の方が非常に多く、目立ちます。</p> <p>我々としては、今、日本全国あちらこちらで高齢の方の事故のニュース等が出ていると思うのですが、なるべく早く免許を返納していただきたいと考えているんですけど、一番のネックは足がなくなるとい</p>

		<p>ことでありますので、ここに携わっている方々は交通の関係の方だと思っておりますので、是非とも早く整備していただいて免許証を返納できるような環境をつくっていただければと思います。</p>
	石山委員	<p>自分が免許を返納しようと考えた場合、今のシステムではあまりにもおどろきすぎてちょっと利用しづらいと思うんですね。</p> <p>今のシステムに追加して、タクシーの乗合制度を作っていただくと、ちょっと小回りが利くんじゃないかと思うんです。今買い物の足の話も出ましたけれど、2人か3人でタクシーを利用して買い物に行く。あるいは同じ日に病院に行くのであれば、ちょっと寄っていただいて3人乗せて行き、帰りも一緒に帰ってくる。そういう小回りの利く交通体制を作っていただくと年の行った人も返上しやすいと思います。</p>
	事務局 (星)	<p>ただいまの警察の吉田委員と石山委員さんからのご意見にございましたとおり、確かに現状で高齢者に公共交通が使いやすいかということかなり難しい部分がございます。これを少しでも使いやすいものに変える方向で具体的な事業については次回ある程度のものお示しできるようにしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>
	事務局長 (圓山)	<p>ただいまのご発言については、免許証を返納した方にはタクシー券を差し上げるといった施策を、阿賀野市も若干やっているんですが、それを拡充するという自治体もあるとニュースで言うておりましたが、そういったこと、あるいはデマンド、そういうものも含めて次回具体的な事業の中でお話ができるのではないかと考えておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>他にないようでありますので、以上で本日の協議会を終了させていただきます。沢山の意見をいただきまして本当にありがとうございました。</p>
		<p>【終了】</p>